

# アフタースクール 社会的インパクト評価について

2017年3月

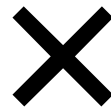
## 評価の柱

### ①活動への参加人数（アウトプット）

- ・ 事業K P I（主に企業・行政系イベント）
- ・ 社会性K P I（主にアフタースクール）

### ②エンパワーメント（アウトカム）

- ・ アンケートによる満足度およびエンパワーメントの調査
- ・ ヒアリング調査



5つのステークホルダー

子ども、保護者、学校、市民先生、企業

# K P I (アウトプット：活動への参加人数)

KPI種類	受益者	KPI
事業KPI	団体 企業 市民	スタッフ数
		企業数
		市民先生の数
		企業・行政イベント等参加のべ人数
社会性KPI	子ども	アフタースクールへの参加のべ人数
		アフタースクールへの実人数
		学校数
		公立校数
	市民	市民先生の数
		企業の参加数

# K P I (アウトカム：エンパワメント)

	KPI	小項目	やり方
子ども	<満足度調査>	・アフタースクールに行ってみてどうか	・アンケートによる5段階調査
	<エンパワメント> ①アカデミック	・学校が好きになったか ・勉強は楽しいか	・アンケート実施、5段階で各項目調査  ・アンケートは1回実施、インターネット調査と比較
	②コンフィデンス	・自分に自信があるか ・自分のことは好きか ・新しいことにチャレンジしたいと思うか ・自分の得意なことはあるか	
	③エモーショナル	・色々な性格や他の学年の子と遊ぶか ・自分と違う意見をよくきけるか	
保護者	<満足度調査>	・知人や友人にどの程度おすすめできるか	・NPSによる調査
	<エンパワメント> ①親子関係、子どもの成長	・子どもの好きなことを知っているか	・アンケート実施、5段階で各項目調査  ・アンケートは1回実施、インターネット調査と比較
	②自分の生活、人生の充実	・自分の時間が持っているか	
	③安心して仕事ができる、 インフラ整備	・安心して仕事ができているか	貢献、復帰、貢献していない、 その他の選択
④就労への貢献	・仕事・共働きに貢献しているか		
学校	<エンパワメント> ①意識変化(保護者)	・学校との連携	・アンケート実施
	②意識変化(学校)	・学校や授業の中でどのような影響があったか	・学校長等へのヒアリング
市民先生	市民先生の声	・活動に参加してどう感じたか	・ヒアリング
企業	企業の声	・活動に参加してどう感じたか	・ヒアリング

# アンケート調査の内容

## <調査対象>

### ○実数

2014年：私立小（5校）+企業等イベント参加者

2015年：私立小（6校）、公立校（3校）、全9校 +企業等イベント参加者

2016年：私立小（8校）、公立校（5校）、全14校 +企業等イベント参加者

### ○アンケート

2014年：私立小アフタースクール1校（214名）

2015年：私立小アフタースクール2校（315名）

公立小アフタースクール2校（151名）

合計466名

**2016年：私立小アフタースクール4校（358名）**

**公立小アフタースクール2校（59名）**

**合計417名**

### ○比較データ

**248名**（小学1～3年生のお子様を持つ保護者を対象にインターネット調査にて2014年に実施）

# アンケート調査の内容（詳細）

## <2016年度アンケート調査対象詳細>

2014年度

学年	1	2	3	4	5	6	未記入	合計
人数	43人	46人	38人	30人	38人	16人	3人	214人
割合	20%	21%	18%	14%	18%	7%	1%	100%

2015年度

学年	1	2	3	4	5	6	未記入	合計
人数	117人	102人	81人	62人	62人	40人	2人	466人
割合	25%	22%	17%	13%	13%	9%	0%	100%

2016年度

2016年度（私立小）								
学年	1	2	3	4	5	6	未記入	合計
人数	102人	76人	68人	46人	38人	26人	2人	358人
割合	28%	21%	19%	13%	11%	7%	1%	100%
2016年度（公立小）								
学年	1	2	3	4	5	6	未記入	合計
人数	25人	15人	8人	7人	3人	1人	0人	59人
割合	42%	25%	14%	12%	5%	2%	0%	100%
2016年度（総合）								
学年	1	2	3	4	5	6	未記入	合計
人数	127人	91人	76人	53人	41人	27人	2人	417人
割合	30%	22%	18%	13%	10%	6%	0%	100%

※各年度において低学年（1－3年）と高学年（4－6年）の割合はほぼ同じ

# 参加人数（子ども、保護者、学校、市民先生・企業）

KP種類	受益者	KPI	単位	測定頻度	2013	2014	2015	2016							
								Q1	Q2	Q3	Q4	目標	実績計	達成率	前年比
								実績	実績	実績	実績				
事業KPI		スタッフ数	人	四半期	5	13	22	34	34	34		33	34	103%	155%
		企業数		四半期	28	35	31	11	20	8		50	39	78%	126%
		市民先生の数	人	四半期	70	117	116	10	26	38		200	74	37%	64%
		企業・行政イベント等参加のべ人数	人	毎月	2,419	5,688	2,967	377	936	1,104		5,000	2,417	48%	81%
社会性KPI	子ども	アフタースクールへの参加のべ人数	人	毎月	35,816	52,372	94,488	35,216	30,154	35,401		140,000	100,771	72%	107%
		アフタースクールへの実人数	人	四半期	497	959	3,000	3,394	3,445	3,456		4,500	3456	77%	115%
		学校数		四半期	3	5	11	14	14	14		14	14	100%	127%
		公立校数		四半期	0	0	5	5	5	5		5	5	100%	100%
	市民	市民先生の数	人	四半期	213	269	508	265	279	298		800	842	105%	166%
		企業の参加数	人	四半期	49	77	243	104	109	108		300	321	107%	132%

## <考察>

- ・ 企業・行政イベント参加が目標に比べショート
- ・ アフタースクールへの「のべ参加人数」および「実人数」においては運営校増加により順調
- ・ アフタースクールへの市民先生や企業の参加は目標を上回るペース、特に公立小において、地域を巻き込む活動活発

# エンパワーメント（満足度・子ども）

アフタースクールに行ってみてどうか？ [とても楽しい…5/楽しくない…1]							
<b>2014年度</b>							
回答	5	4	3	2	1	合計	4 5合計
人数	46人	55人	35人	6人	3人	145人	101人
割合	32%	38%	24%	4%	2%	100%	70%
<b>2015年度</b>							
回答	5	4	3	2	1	合計	4 5合計
人数	161人	133人	69人	16人	5人	384人	294人
割合	42%	35%	18%	4%	1%	100%	77%
<b>2016年度 (総合)</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4 5合計
人数	146人	134人	64人	15人	8人	367人	280人
割合	40%	37%	17%	4%	2%	100%	76%
<b>2016年度 (私立小)</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4 5合計
人数	123人	120人	50人	10人	8人	311人	243人
割合	40%	39%	16%	3%	3%	100%	78%
<b>2016年度 (公立小)</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4 5合計
人数	23人	14人	14人	5人	0人	56人	37人
割合	41%	25%	25%	9%	0%	100%	66%

## <考察>

- ・子どもの満足度は76%が満足と回答、満足度は現状維持
- ・私立小の方が公立小より満足度高い傾向、いずれも80%を目標に引き上げたい



# エンパワーメント（満足度・保護者）

預かり 非常に薦めたい…10/全く薦めたくない…0													
2014年度													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	42人	11人	35人	17人	6人	31人	1人	4人	0人	0人	1人	148人	148人
割合	28%	7%	24%	11%	4%	21%	1%	3%	0%	0%	1%	100%	7%
2015年度													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	134人	30人	92人	33人	16人	48人	4人	3人	2人	3人	6人	371人	371人
割合	36%	8%	25%	9%	4%	13%	1%	1%	1%	1%	2%	100%	22%
2016年度 (総合)													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	91人	19人	66人	28人	9人	45人	6人	8人	4人	3人	2人	281人	281人
割合	32%	7%	23%	10%	3%	16%	2%	3%	1%	1%	1%	100%	12%
2016年度 (私立小)													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	71人	14人	55人	23人	8人	35人	6人	8人	4人	3人	2人	229人	229人
割合	31%	6%	24%	10%	3%	15%	3%	3%	2%	1%	1%	100%	8%
2016年度 (公立小)													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	20人	5人	11人	5人	1人	10人	0人	0人	0人	0人	0人	52人	52人
割合	38%	10%	21%	10%	2%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	27%
プログラム 非常に薦めたい…10/全く薦めたくない…0													
2014年度													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	43人	13人	40人	13人	6人	19人	2人	2人	0人	1人	2人	141人	141人
割合	30%	9%	28%	9%	4%	13%	1%	1%	0%	1%	1%	100%	17%
2015年度													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	104人	23人	78人	36人	13人	41人	2人	3人	1人	0人	4人	305人	305人
割合	34%	8%	26%	12%	4%	13%	1%	1%	0%	0%	1%	100%	21%
2016年度 (総合)													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	98人	25人	73人	26人	13人	29人	3人	6人	1人	1人	0人	275人	275人
割合	36%	9%	27%	9%	5%	11%	1%	2%	0%	0%	0%	100%	25%
2016年度 (私立小)													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	74人	19人	63人	20人	12人	25人	3人	6人	1人	1人	0人	224人	224人
割合	33%	8%	28%	9%	5%	11%	1%	3%	0%	0%	0%	100%	20%
2016年度 (公立小)													
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	合計	NPS
人数	24人	6人	10人	6人	1人	4人	0人	0人	0人	0人	0人	51人	51人
割合	47%	12%	20%	12%	2%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	49%

## <考察>

### 【預かり】

・残念ながら前年度より満足度低下、**普段の過ごし方**に改善の余地あり

・公立小は総合的に高い評価

・私立小の方が料金の関係もありシビア

### 【プログラム】

・満足度上昇、プログラムの充実が進んでいる

・特に公立小での**プログラム充実が評価されている**傾向、習い事含め、更なる充実を推進する

# エンパワーメント（子ども・アカデミック）

学校が好きか							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	63人	48人	32人	1人	3人	147人	111人
割合	43%	33%	22%	1%	2%	100%	76%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	227人	86人	78人	16人	2人	409人	313人
割合	56%	21%	19%	4%	0%	100%	77%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	198人	74人	53人	12人	2人	339人	272人
割合	58%	22%	16%	4%	1%	100%	80%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	193人	69人	50人	10人	2人	324人	262人
割合	60%	21%	15%	3%	1%	100%	81%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	5人	5人	3人	2人	0人	15人	10人
割合	33%	33%	20%	13%	0%	100%	67%

勉強が楽しいか							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	46人	44人	43人	11人	2人	146人	90人
割合	32%	30%	29%	8%	1%	100%	62%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	117人	135人	104人	28人	13人	397人	252人
割合	29%	34%	26%	7%	3%	100%	63%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	120人	111人	104人	29人	16人	380人	231人
割合	32%	29%	27%	8%	4%	100%	61%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	107人	98人	85人	23人	11人	324人	205人
割合	33%	30%	26%	7%	3%	100%	63%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	13人	13人	19人	6人	5人	56人	26人
割合	23%	23%	34%	11%	9%	100%	46%

(参考) 一般：71%

## <考察>

- ・学校が好きか、に対する回答は上昇傾向、一般と比べるとやや高い数値となった
- ・勉強が楽しいか、に対する回答は昨年度とほぼ同様、特に公立小においては、「宿題」や「学習系プログラム」の充実が必要

# エンパワーメント（子ども・コンフィデンス）

自分に自信がある							
2014年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	37人	52人	40人	14人	3人	146人	89人
割合	25%	36%	27%	10%	2%	100%	61%

2015年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	108人	125人	121人	32人	12人	398人	233人
割合	27%	31%	30%	8%	3%	100%	59%

2016年度（総合）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	104人	107人	125人	32人	12人	380人	211人
割合	27%	28%	33%	8%	3%	100%	56%

2016年度（私立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	88人	94人	109人	26人	7人	324人	182人
割合	27%	29%	34%	8%	2%	100%	56%

2016年度（公立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	16人	13人	16人	6人	5人	56人	29人
割合	29%	23%	29%	11%	9%	100%	52%

自分のことが好き							
2014年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	59人	43人	31人	10人	3人	146人	102人
割合	40%	29%	21%	7%	2%	100%	70%

2015年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	158人	111人	86人	25人	5人	385人	269人
割合	41%	29%	22%	6%	1%	100%	70%

2016年度（総合）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	158人	86人	107人	18人	10人	379人	244人
割合	42%	23%	28%	5%	3%	100%	64%

2016年度（私立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	139人	75人	91人	12人	7人	324人	214人
割合	43%	23%	28%	4%	2%	100%	66%

2016年度（公立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	19人	11人	16人	6人	3人	55人	30人
割合	35%	20%	29%	11%	5%	100%	55%

（参考）一般：29%

## <考察>

- ・前年度に比べ少し数値が落ちたものの、一般に比べて高い数値となった
- ・ただアフタースクールの重要な目的である「自己肯定感の向上」という面で、プログラムの更なる充実を含めてまだまだ取り組めることがある印象

# エンパワーメント（子ども・コンフィデンス）

新しいことにチャレンジしたい							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	73人	44人	22人	5人	2人	146人	117人
割合	50%	30%	15%	3%	1%	100%	80%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	197人	118人	64人	13人	4人	396人	315人
割合	50%	30%	16%	3%	1%	100%	80%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	191人	115人	54人	14人	5人	379人	306人
割合	50%	30%	14%	4%	1%	100%	81%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	167人	98人	46人	9人	4人	324人	265人
割合	52%	30%	14%	3%	1%	100%	82%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	24人	17人	8人	5人	1人	55人	41人
割合	44%	31%	15%	9%	2%	100%	75%

(参考) 一般：49%

得意なことがある							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	86人	46人	13人	1人	0人	146人	132人
割合	59%	32%	9%	1%	0%	100%	90%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	248人	103人	33人	7人	3人	394人	351人
割合	63%	26%	8%	2%	1%	100%	89%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	243人	92人	32人	8人	4人	379人	335人
割合	64%	24%	8%	2%	1%	100%	88%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	210人	79人	27人	5人	3人	324人	289人
割合	65%	24%	8%	2%	1%	100%	89%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	33人	13人	5人	3人	1人	55人	46人
割合	60%	24%	9%	5%	2%	100%	84%

(参考) 一般：64%

## <考察>

- ・毎年かなり高い数値結果、一般と比べてもかなり高い数値となった
- ・アフタースクールの大きな目的である「チャレンジ意欲の育成」や「自分の得意なことを見つけること」に関しては、アフタースクールは大きく貢献

# エンパワーメント（子ども・エモーショナル）

## 色々な性格や他の学年の子と遊ぶ

2014年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	44人	55人	33人	12人	2人	146人	99人
割合	30%	38%	23%	8%	1%	100%	68%

2015年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	143人	113人	83人	37人	5人	381人	256人
割合	38%	30%	22%	10%	1%	100%	67%

2016年度（総合）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	160人	117人	67人	20人	13人	377人	277人
割合	42%	31%	18%	5%	3%	100%	73%

2016年度（私立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	136人	107人	57人	12人	10人	322人	243人
割合	42%	33%	18%	4%	3%	100%	75%

2016年度（公立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	24人	10人	10人	8人	3人	55人	34人
割合	44%	18%	18%	15%	5%	100%	62%

## 自分と違う意見を聞ける

2014年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	37人	62人	39人	7人	1人	146人	99人
割合	25%	42%	27%	5%	1%	100%	68%

2015年度							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	93人	124人	118人	24人	6人	365人	217人
割合	25%	34%	32%	7%	2%	100%	59%

2016年度（総合）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	127人	113人	115人	19人	5人	379人	240人
割合	34%	30%	30%	5%	1%	100%	63%

2016年度（私立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	111人	101人	96人	12人	4人	324人	212人
割合	34%	31%	30%	4%	1%	100%	65%

2016年度（公立小）							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	16人	12人	19人	7人	1人	55人	28人
割合	29%	22%	35%	13%	2%	100%	51%

（参考）一般：49%

### <考察>

- ・エモーショナルに関する質問は、昨年度を上回る数値、また一般と比べても高い数値となった
- ・「異学年交流」や「多様性理解」についてはアフタースクールにおいて大切な指標のひとつで、特に公立校においてさらにさまざまな取り組みが必要

# エンパワーメント（保護者・子どもの成長／自分の生活）

子どもの好きなこと得意なことを知っているか							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	33人	71人	45人	1人	1人	151人	104人
割合	22%	47%	30%	1%	1%	100%	69%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	180人	181人	35人	3人	4人	403人	361人
割合	45%	45%	9%	1%	1%	100%	90%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	170人	171人	39人	1人	0人	381人	341人
割合	45%	45%	10%	0%	0%	100%	90%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	151人	142人	31人	1人	0人	325人	293人
割合	46%	44%	10%	0%	0%	100%	90%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	19人	29人	8人	0人	0人	56人	48人
割合	34%	52%	14%	0%	0%	100%	86%

（参考）一般：69%

自分の時間が持てているか							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	32人	54人	58人	4人	4人	152人	86人
割合	21%	36%	38%	3%	3%	100%	57%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	67人	110人	142人	72人	17人	408人	177人
割合	16%	27%	35%	18%	4%	100%	43%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	61人	99人	124人	57人	40人	381人	160人
割合	16%	26%	33%	15%	10%	100%	42%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	52人	88人	104人	49人	32人	325人	140人
割合	16%	27%	32%	15%	10%	100%	43%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	9人	11人	20人	8人	8人	56人	20人
割合	16%	20%	36%	14%	14%	100%	36%

（参考）一般：47%

## <考察>

・子どもの好きなこと得意なことを知っているか、という質問に関しては例年通り非常に高い数値を得られた。アフタースクールを通して子どもが自分の好きなことを発見し、保護者にそれが伝わっている。また**毎日の子どもの様子を保護者に伝える、発表会の実施**、なども貢献していると考えられる。

・保護者の生活の充実を表す自分の時間が持てているか、という質問に関しては、低い数値となった。共働き家庭が増え、生活そのものが忙しく時間を確保できていないことも影響していると考察。

# エンパワーメント（保護者・インフラ整備、就労への貢献）

安心して仕事が出来ているか							
<b>2014年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	64人	44人	29人	1人	1人	139人	108人
割合	46%	32%	21%	1%	1%	100%	78%
<b>2015年度</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	106人	147人	82人	32人	15人	382人	253人
割合	28%	38%	21%	8%	4%	100%	66%
<b>2016年度（総合）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	138人	125人	80人	25人	6人	374人	263人
割合	37%	33%	21%	7%	2%	100%	70%
<b>2016年度（私立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	112人	107人	71人	22人	6人	318人	219人
割合	35%	34%	22%	7%	2%	100%	69%
<b>2016年度（公立小）</b>							
	5	4	3	2	1	合計	4・5合計
人数	26人	18人	9人	3人	0人	56人	44人
割合	46%	32%	16%	5%	0%	100%	79%

アフタースクールは仕事・共働きへ貢献したか					
<b>2014年度</b>					
回答	貢献	復帰	貢献なし	合計	合算
人数	65人	31人	7人	103人	96人
割合	63%	30%	7%	100%	93%
<b>2015年度</b>					
回答	貢献	復帰	貢献なし	合計	合算
人数	155人	54人	34人	243人	209人
割合	64%	22%	14%	100%	86%
<b>2016年度（総合）</b>					
回答	貢献	復帰	貢献なし	合計	合算
人数	203人	55人	33人	291人	258人
割合	70%	19%	11%	100%	89%
<b>2016年度（私立小）</b>					
回答	貢献	復帰	貢献なし	合計	合算
人数	165人	41人	31人	237人	206人
割合	70%	17%	13%	100%	87%
<b>2016年度（公立小）</b>					
回答	貢献	復帰	貢献なし	合計	合算
人数	38人	14人	2人	54人	52人
割合	70%	26%	4%	100%	96%

(参考) 一般：35%

## <考察>

- ・社会課題解決である子育てインフラ整備に関する質問では、**高い数値**が得られた（専業家庭は「その他」を選んでいる）
- ・合わせて保護者の仕事・共働きへの貢献度も昨年度同様**高い数値**を得られている。特に公立小では貢献度が非常に高い
- ・ただし、保護者が安心して仕事ができる環境をもっと高い水準とするためには、まだまだ改善の余地あり

# エンパワメント（学校・意識変化）

## ■学校とアフタースクールについて

「特に都内の小学校において、アフタースクール（放課後の居場所）はスタンダードになりつつある」  
（小学校校長）

「アフタースクールがあるからこの学校を選んだ側面がある。学校の近くに引っ越しをした」  
（保護者）

「アフタースクールが積極的に学校にかかわってくれており、ありがたい。他校の見本となってほしい」  
（行政職員）

「まだまだコミュニケーションが必要な部分もあるが、プログラム等で徐々に連携が取れてきている」  
（学校教員）



# エンパワーメント（市民先生・感想、ご意見）

## ■市民先生の声

「長年かかわる中で子どもたちが成長していく姿が嬉しい。4年経ちリーダーシップが取れるようになった」

（チアコーチ）

「元々水引のワークショップは行っていたが、しっかり学べる授業にしてくれた放課後はすごい！」

（水引職人）

「ラジコンマニア以外の子どもたちにもラジコンを通して、自分の好きなことを一生懸命がんばることを伝えられたのがよかった」

（ラジコン講師）

「弊社の事業を子どもたちに説明するのは難しかったが、自社が何をしているのか、またその意義が自分のものになった。とてもいい機会だった」（協業企業2016年度新入社員）

「子どもたちが日本橋の街を好きになってくれたらこの上なく嬉しい。神様の近くでお話をしっかり聞いてくれた。」

（神社 宮司）

# エンパワーメント（企業・感想、ご意見）

## ■企業の声

A社

「**地域とつながりながら**、お客様の役に立てる形ができつつあり嬉しい」

B社

「継続実施することで、子どもたちの成長も見られること、またこの活動が地域に根付いてきた感触を得ている」

C社

「応募者が増え、ますます放課後への**体験活動の需要**を感じている。全国各地で集めた声はぜひ政府への提言や、ロビイングに活用してほしい」

D社

「今年度より初めて**ボランティア**を社内で募ることにより、課題も多くあったが認知がされて嬉しい。来年度は本活動が事業に直結するような動きも出てきた」

E社

「単なる楽しいイベントではなく、深い<学び、体験>ができるプログラムを実施したかったので、ご一緒してよかった。今年度は東京、福島に届けられたが今後も**全国に届けたい**」

# 成果と課題（詳細）

## ①参加人数（アウトカム）

- ・開校が順調に進み、影響する子どもの実数も増加
- ・団体の特徴である市民先生や企業の取り込みも増え、団体の価値向上および市民の意識向上にも貢献
- ・今後は開校を少し抑えるが、各校で地域を巻き込んだ取り組みをさらに推進する

## ②エンパワーメント（どのくらい満足したか）

- ・子どもにおいては、昨年度同様。来年度80%を目指す。保護者においては、公立校が高い数値に。私立小においては開校から数年経つ中で更なる充実が求められている。
- ・プログラムにおいては、特に公立小でのプログラム充実が評価されており、今後「公立校でも習い事が出来る環境」を目指す。

## 成果と課題（詳細）

### ③エンパワメント（子ども）

- ・アカデミック分野では、やはり公立校での**宿題指導、習い事**の充実が課題
- ・コンフィデンス分野ではアフタースクールが子どもたちにとってチャレンジできる場、として効果がある一方、まだまだプログラムの充実が必要な部分もある
- ・エモーショナル分野では、主に公立校で**多様性の理解**が進むような取り組みをしたい

### ④エンパワメント（保護者）

- ・アフタースクールは**安心して仕事ができる環境づくり**に貢献しており、世の中のスタンダードになりつつある
- ・子どもたちの好きなこと、得意なことなどを日々のブログや年度末の発表会で見える機会が増え効果が出ていると推測

# 成果と課題（詳細）

## ⑤エンパワメント（学校）

- ・先生方含めて学校サイドは、共働き家庭を無視できない環境になりつつあることを**理解**
- ・アフタースクールを必要不可欠なものという認識進む（社会的インフラとして認識）
- ・**学習面での連携**も一部はじまっており、先生方も協力

## ⑥エンパワメント（市民先生、企業）

- ・市民先生はアフタースクールの活動参加後の満足度が高く、更なる巻き込みを期待
- ・企業は社会貢献的側面はもちろん、**ボランティア**や**職員研修**においても親和性あり

# 成果と課題のまとめ

ステークホルダー	項目	社会的インパクト評価	備考
子ども	満足度	○	子どもにとってアフタースクールはチャレンジできる場 学校が楽しくなる効果もあり
	アカデミック	△	
	コンフィデンス	◎	
	エモーショナル	○	
保護者	満足度	△	インフラ整備や就労への貢献は一定の効果 また子どもの得意なことを知るきっかけにもなっている
	親子関係	○	
	自分の生活	△	
	インフラ整備	○	
	就労への貢献	◎	
学校	意識変化	○	理解が進んでいる
市民先生	影響	◎	社会貢献の場として、また自分の成長の場として価値
企業	影響	◎	